

平成 23 年度東京都病院会計決算審査意見書

第 1 審 査 の 概 要

1 審査の対象 病院経営本部

2 審査の方法

この決算審査に当たっては、知事から提出された決算書類が、病院事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかを検証するため、決算諸表、総勘定元帳その他の帳簿及び証拠書類の照合等を行うとともに、関係部局から決算についての説明を聴取するなどの方法により審査を実施した。

また、本事業の経営状況を把握するため計数の分析を行うとともに、経済性の発揮及び公共性の確保の観点から事業運営が適切に行われているかを検証した。

3 審査の期間 平成 24 年 6 月 1 日から同年 9 月 6 日まで

第 2 審 査 の 結 果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、病院事業の経営成績及び財政状態を、別項指摘事項を除き適正に表示しているものと認められる。

2 事業運営について

平成 23 年度の病院事業は、普通病院 6、小児病院 1、精神科病院 1 の計 8 病院において、病床数 4,964 床の施設規模により運営され、年間延べ患者数は、入院で 154 万 8,498 人、外来で 186 万 9,450 人となっている。

これを前年度と比較すると、入院では 9 万 8,351 人、外来では 5 万 1,954 人、それぞれ増加している。この要因は、都立病院の再編整備に伴い平成 22 年 3 月に開設した多摩総合及び小児総合両医療センターが、年間を通じて本格稼働したことによるものである。

収支状況は、総収益 1,488 億余円に対し、総費用 1,511 億余円であり、差引き 23 億余円の純損失となっている。

財政状況は、資産 2,832 億余円、負債 415 億余円及び資本 2,416 億余円となっている。

当年度の経営状況は、再編整備に伴う資産の除却などにより特別損失を計上したことから、23 億余円の純損失が生じている。

病院経営本部は、「第二次都立病院改革実行プログラム」(平成 20 年度～平成 24 年度)を推進しているところであるが、再編整備で取得した資産の償却開始に伴う費用の増加などが今後も見込まれることから、再編整備で増強した医療機能の活用などにより収支の改善を図るとともに、正確な経営分析に基づく経営改善への取組を続けるなど、より一層の経営努力を行う必要がある。

3 指摘事項

(1) 決算に関するもの

ア 特別損失を適正に計上すべきもの

東京都病院事業財務規則（昭和39年東京都規則第123号）に基づき定められた勘定科目表では、当年度の経常費用から除外すべき損失のうち、前年度以前の損益の修正に係る費用の増の場合で1件2,000万円以上のものは、特別損失に計理すると規定している。

しかしながら、多摩総合医療センターが支出した病院運営に係る委託料8億5,127万4,975円（平成24年3月分）のうち、2,590万4,818円については、過年度の費用であることから、特別損失に計上すべきであるにもかかわらず、（項）医業費用（目）経費に計上しており適正でない。

本部は、特別損失を適正に計上されたい。

第3 経営状況の概要

1 経営成績について

(1) 事業実績について

ア 入院患者実績について

当年度の入院患者実績は、表1のとおり、154万8,498人であり、前年度（145万147人）と比較して9万8,351人（6.8%）増加している。これは主に、多摩総合及び小児総合両医療センターが本格稼働したこと、駒込病院が整備していた病棟を全面開設したことによるものである。

（表1）入院患者の実績比較表

（単位：床、人、%）

区 分	平成23年度			平成22年度			増（ ）減			
	病床数	一日当たり	年延べ (A)	病床数	一日当たり	年延べ (B)	病床数	一日当たり	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	3,553	3,045	1,114,328	3,553	2,909	1,062,146	0	136	52,182	4.9
広 尾	476	399	146,159	476	407	148,293	0	8	2,134	1.4
大 塚	500	424	155,115	500	415	151,562	0	9	3,553	2.3
駒 込	801	634	232,123	801	586	214,046	0	48	18,077	8.4
墨 東	729	651	238,385	729	628	229,330	0	23	9,055	3.9
多摩総合	751	684	250,146	751	610	222,920	0	74	27,226	12.2
神 経	296	253	92,400	296	263	95,995	0	10	3,595	3.7
小児病院										
小児総合	549	440	161,155	549	368	134,133	0	72	27,022	20.1
精神科病院										
松 沢	862	746	273,015	862	696	253,868	0	50	19,147	7.5
合 計	4,964	4,231	1,548,498	4,964	3,973	1,450,147	0	258	98,351	6.8

（注） 病床数は、予算定床数である。

病床種別の病床数及び病床利用率は、表２のとおりである。予算における病床数は、前年度と比較して変更はない。病床利用率は、８５．２％となっている。

（表２）病床種別の病床数及び病床利用率比較表

（単位：床、人、％）

区 分	平成23年度				平成22年度				増（ ）減			
	病床数	一日当たり	年延べ	利用率	病床数	一日当たり	年延べ	利用率	病床数	一日当たり	年延べ	利用率
普通病床	3,769	3,286	1,202,534	87.2	3,769	3,100	1,131,606	82.3	0	186	70,928	4.9
精神病床	1,095	919	336,224	83.9	1,095	849	309,540	77.4	0	70	26,684	6.4
結核病床	60	26	9,672	44.0	60	24	8,933	40.8	0	2	739	3.3
感染症病床	40	0	68	0.5	40	0	68	0.5	0	0	0	—
合 計	4,964	4,231	1,548,498	85.2	4,964	3,973	1,450,147	80.0	0	258	98,351	5.2

（注）１ 病床数は、予算定床数である。

２ 病床利用率は、年延べ患者数を病床数×暦日で除したものである。

３ 精神病床は広尾・墨東・多摩総合・小児総合・松沢に、結核病床は多摩総合・小児総合に、感染症病床は駒込・墨東に設置している。

イ 外来患者実績について

当年度の外来患者実績は、表３のとおり、１８６万９，４５０人であり、前年度（１８１万７，４９６人）と比較して５万１，９５４人（２．９％）増加している。これは主に、多摩総合及び小児総合両医療センターが本格稼動したことによるものである。

（表３）外来患者の実績比較表

（単位：人、％）

区 分	平成23年度		平成22年度		増（ ）減		
	一日当たり	年延べ (A)	一日当たり	年延べ (B)	一日当たり	年延べ (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
普通病院	5,363	1,582,109	5,300	1,558,137	63	23,972	1.5
広 尾	738	217,795	727	213,710	11	4,085	1.9
大 塚	823	242,711	819	240,871	4	1,840	0.8
駒 込	1,126	332,289	1,151	338,302	25	6,013	1.8
墨 東	1,169	344,825	1,172	344,621	3	204	0.1
多摩総合	1,489	439,352	1,412	415,084	77	24,268	5.8
神 経	18	5,137	19	5,549	1	412	7.4
小児病院	623	183,844	548	161,129	75	22,715	14.1
小児総合							
精神科病院	351	103,497	334	98,230	17	5,267	5.4
松 沢							
合 計	6,337	1,869,450	6,182	1,817,496	155	51,954	2.9

(2) 経営成績について

平成 23 年度における経営成績は、表 4 (詳細は、別表 1 比較損益計算書) のとおりである。

医業損失は、198 億余円であり、前年度 (228 億余円) と比較して、29 億余円 (13.1 %) 減少している。経常利益は、14 億余円であり、前年度 (20 億余円) と比較して、5 億余円 (28.6 %) 減少している。

純損益については、前年度の純利益 (4 億余円) に対して、23 億余円の純損失となっている。

(表 4) 経営成績比較表

(単位 : 百万円、%)

区 分		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増 () 減	
				金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
	医 業 収 益	120,860	111,664	9,196	8.2
	医 業 費 用	140,711	134,501	6,209	4.6
	医 業 損 失	19,850	22,837	2,986	13.1
	医 業 外 収 益	27,412	31,040	3,627	11.7
	医 業 外 費 用	6,067	6,110	42	0.7
	経 常 利 益	1,493	2,092	598	28.6
	特 別 利 益	547	0	547	—
	特 別 損 失	4,354	1,592	2,762	173.5
	純 損 益	2,313	499	2,813	563.7

ア 収益について

総収益は、表 5 のとおり、1,488 億余円であり、前年度 (1,427 億余円) と比較して、61 億余円 (4.3 %) 増加している。これは主に、医業外収益が 36 億余円減少しているものの、医業収益が 91 億余円増加していることによるものである。

医業収益は 1,208 億余円であり、前年度 (1,116 億余円) と比較して、91 億余円 (8.2 %) 増加している。これは主に、入院収益が 77 億余円増加したことによるものである。入院収益の増加は、主に、多摩総合及び小児総合両医療センターが本格稼動したことなどに伴う患者数の増加によるものである。

医業外収益は 274 億余円であり、前年度 (310 億余円) と比較して、36 億余円 (11.7 %) 減少している。これは主に、一般会計補助金が 34 億余円減少したことによるものである。一般会計補助金の減少は、多摩総合及び小児総合両医療センターの本格稼動により、収支の改善が図られたことなどによるものである。

(表5) 収益比較表

(単位：百万円、%)

区 分		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増 () 減	
				金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業収益		120,860	111,664	9,196	8.2
	入院収益	73,963	66,164	7,799	11.8
	外来収益	25,353	24,005	1,347	5.6
	一般会計負担金	19,805	19,994	188	0.9
	その他医業収益	1,738	1,500	238	15.9
医業外収益		27,412	31,040	3,627	11.7
	受取利息及配当金	3,005	3,035	30	1.0
	一般会計負担金	1,303	1,293	10	0.8
	一般会計補助金	20,560	23,972	3,412	14.2
	国庫補助金	514	573	59	10.3
	その他医業外収益	2,029	2,164	134	6.2
特別利益		547	0	547	—
総収益		148,820	142,704	6,115	4.3

一般会計からの繰入金は、表6のとおり、416億余円であり、前年度(452億余円)と比較して、35億余円減少している。

(表6) 一般会計繰入金内訳比較表

(単位：百万円)

区 分		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増 () 減 (C)=(A)-(B)
一般会計負担金		21,109	21,288	178
	医業収益	19,805	19,994	188
	救急医療経費	5,781	6,095	313
	精神科病院運営経費	9,143	8,948	195
	小児医療経費	3,231	3,302	70
	保健衛生行政経費	1,648	1,648	0
	医業外収益	1,303	1,293	10
	建設又は改良に要する経費	1,303	1,293	10
一般会計補助金		20,560	23,972	3,412
	医業外収益	20,560	23,972	3,412
	高度医療経費	11,002	12,978	1,976
	特殊医療経費	8,599	10,070	1,470
	建設又は改良に要する経費	958	924	34
合 計		41,669	45,261	3,591

イ 費用について

総費用は、表７のとおり、１，５１１億余円であり、前年度（１，４２２億余円）と比較して、８９億余円（６．３％）増加している。

医業費用は、１，４０７億余円であり、前年度（１，３４５億余円）と比較して、６２億余円（４．６％）増加している。これは主に、再編整備に伴う駒込病院の移転経費やＰＦＩ手法による運營業務開始に伴う松沢病院の委託料など経費が３４億余円、看護要員の確保など給与費が１８億余円、それぞれ増加したことによるものである。

医業外費用は、６０億余円であり、前年度（６１億余円）と比較して、４千万余円（０．７％）減少している。

特別損失は、４３億余円を計上している。これは主に、がん・感染症医療センター（仮称）整備事業に伴う仮設棟除却や廃止病院の固定資産除却などが発生したことによるものである。

なお、給与費・職員数等については、表８のとおりである。

（表７）費用比較表

（単位：百万円）

区 分		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増（ ）減	
				金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業費用		140,711	134,501	6,209	4.6
	給与費	70,883	69,076	1,807	2.6
	材料費	12,911	12,405	505	4.1
	経費	42,648	39,157	3,490	8.9
	減価償却費	13,211	12,728	482	3.8
	資産減耗費	81	229	148	64.6
	研究研修費	975	904	71	7.9
医業外費用		6,067	6,110	42	0.7
	支払利息及企業債取扱諸費	2,259	2,214	45	2.0
	繰延勘定償却	683	625	57	9.1
	雑支出	3,125	3,270	145	4.4
特別損失		4,354	1,592	2,762	173.5
総費用		151,134	142,205	8,929	6.3

(表8) 給与費明細比較表

(単位：百万円)

区 分	平成23年度	平成22年度	増()減
給料	25,302	24,873	429
職員手当	25,326	24,599	727
法定福利費	9,891	9,519	371
計	60,521	58,992	1,528
職員数	6,629人	6,450人	179人
平均年齢	40歳4月	40歳2月	0歳2月
職員1人当たり給与費	7,543千円	7,538千円	5千円

(注) 1 職員数及び平均年齢は、年度末現在である。また、職員数には、再任用短時間勤務者(平成23年度157人、平成22年度129人)を含む。

2 職員1人当たり給与費は、(給料+手当)÷月当たり平均職員数である。

3 職員は、すべて損益勘定部門に所属している。

事業の収益性を示す経営指標は、表9のとおりである。平成23年度は、医業収益の伸びが医業費用の伸びを上回ったことにより、自己収支比率などが前年度より改善しているものの、固定資産除却など特別損失を43億余円計上しているため、総費用対総収益比率が前年度より悪化している。

(表9) 経営比率の推移

(単位：%)

項 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	算 式
経営資本 営業利益率	14.0	12.4	10.1	10.0	8.1	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}}$
営業収益 営業利益率	21.1	21.1	22.3	20.5	16.4	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}}$
総費用対 総収益比率	92.7	98.8	92.1	99.7	101.6	$\frac{\text{総費用}}{\text{総収益}}$
自己収支比率	70.4	70.4	67.0	69.3	72.6	$\frac{\text{病院事業収益}}{\text{病院事業費用}}$

(注) 1 自己収支比率 = 病院事業収益(一般会計繰入金及び特別利益を除く。)÷病院事業費用(特別損失を除く。)

2 財政状態について

(1) 資本的収支について

資本取引に係る資金の動きを示す資本的収支の状況は、表 10 のとおりである。

資本的収入は、156 億余円であり、前年度(195 億余円)と比較して、39 億余円(20 . 1 %)減少している。これは主に、企業債が38 億余円(19 . 9 %)減少したことによるものである。

資本的支出は、286 億余円であり、前年度(326 億余円)と比較して、40 億余円(12 . 3 %)減少している。これは主に、建設改良費が21 億余円(8 . 6 %)、企業債償還金が17 億余円(24 . 3 %)減少したことによるものである。

資金収支の状況は、表 11 のとおり、差引額は129 億余円の財源不足となっている。これを損益勘定留保資金等で補填した結果、全体として13 億余円の財源余剰となっている。

なお、当年度末における資金残高は、表 12 のとおりである。

(表 10) 資本的収支比較表

(単位：百万円、%)

区 分		平成23年度 (A)	平成22年度 (B)	増 () 減	
				金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
資本的収入	企業債	15,570	19,438	3,868	19.9
	国庫補助金	0	1	1	100
	固定資産売却収入	22	0	22	—
	その他資本収入	9	89	80	89.9
	計	15,602	19,529	3,927	20.1
資本的支出	建設改良費	23,048	25,219	2,171	8.6
	企業債償還金	5,552	7,333	1,781	24.3
	国庫補助金返還金	0	50	50	100
	計	28,601	32,603	4,002	12.3
差引資本的収支		12,998	13,073	75	0.6

(表11) 資金収支表

(単位：百万円)

支 出		収 入	
項 目	金 額	項 目	金 額
資本的支出 (A)	28,601	資本的収入 (B)	15,602
翌年度繰越工事資金 (C)	71	前年度繰越工事資金 (D)	99
計 (E)=(A)+(C)	28,673	計 (F)=(B)+(D)	15,701
		資本的収支資金不足額 (G)=(F)-(E)	12,971
		当期純利益	2,313
		年賦未収金受払	2,298
		不動産信託受益権	2,955
		損益勘定留保資金	17,184
		(減価償却費)	13,211
		(繰延勘定償却)	683
		(企業債発行差金)	2
		(固定資産除却費等)	3,287
		消費税資本的収支調整額	71
		計 (H)	14,285
収益的収支資金剰余額 (J)=(H)	14,285		
当年度資金剰余額 (K)=(J)-(G)	1,314		
合計 (E)+(K)	29,987	合計 (F)+(H)	29,987

(表12) 年度末資金残高表

(単位：百万円)

区 分	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
流動資産 (A)	45,433	73,605	83,723	76,560	78,831
流動負債 (B)	19,353	40,000	48,953	40,564	41,548
年度末資金残高 (A-B)	26,079	33,604	34,770	35,996	37,283

(2) 資産、負債及び資本について

当年度末の資産、負債及び資本の状況は、別表2 比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、2,832億余円で、前年度(2,745億余円)と比較して、86億余円(3.2%)増加している。これは主に、固定資産が60億余円、流動資産が22億余円、それぞれ増加したことによるものである。

固定資産の増加は、主に、精神医療センター(仮称)及びがん・感染症医療センター(仮称)整備事業に伴う建物の取得などにより、有形固定資産が70億余円増加したことによるものである。

流動資産の増加は、主に、現金預金が12億余円、未収金が8億余円増加したことによるものである。

負債総額は、415億余円であり、前年度(405億余円)と比較して、9億余円(2.4%)増加している。これは主に、未払金が9億余円増加したことによるものである。

未払金の増加は、主に、がん・感染症医療センター(仮称)整備事業が終了したことにより、建設改良未払金が26億余円減少しているものの、医業未払金が17億余円、その他未払金が15億余円、それぞれ増加したことによるものである。

資本総額は、2,416億余円であり、前年度(2,339億余円)と比較して、77億余円(3.3%)増加している。これは、減債積立金などの剰余金が70億余円減少したものの、企業債などの資本金が147億余円増加したことによるものである。

次に、当年度における有利子負債及び支払利息等の状況は、表13のとおりであり、有利子負債は、100億余円増加している。

(表13) 有利子負債及び支払利息等の状況

(単位：百万円)

区 分		平成23年度末 残高 (A)	平成23年度		平成22年度末 残高 (B)	増 () 減 (A)-(B)
			増 加	減 少		
有利子負債	企業債	127,862	15,573	5,552	117,842	10,020
区 分		平成23年度支払額 (C)		平成22年度支払額 (D)		増 () 減 (C)-(D)
支払利息等	支払利息及 企業債取扱諸費	2,256		2,205		51

以上の財政状態を財務比率の推移で見ると、表14のとおりである。

がん・感染症医療センター(仮称)整備事業が終了したことなどにより、建設改良未払金が減少したものの、借入資本金が増加したため、自己資本構成比率は悪化している。

その他の指標は、横ばいとなっている。

(表14) 財務比率の推移

(単位：%)

項 目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	算 式
流動比率	234.8	184.0	171.0	188.7	189.7	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
自己資本構成比率	45.8	39.7	42.8	42.3	40.2	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}}$
固定長期適合率	83.4	81.6	81.7	82.0	81.9	$\frac{\text{固定資産}}{\text{長期資本}}$

(注) 1 自己資本 = 自己資本金 + 剰余金

2 長期資本 = 資本金(自己資本金 + 借入資本金) + 剰余金 + 固定負債

3 建設改良事業について

建設改良事業は、建設改良工事、器械及備品の整備を行っており、表 15 のとおり、予算額 249 億余円に対し、執行額 230 億余円であり、執行率 92.2%となっている。

(表 15) 建設改良事業執行状況

(単位：百万円、%)

区 分	予算額 (A)	執行額 (B)	執行率 $(B)/(A) \times 100$	翌年度への 繰越額 (C)	不用額 $(A)-(B)-(C)$
建設改良工事	16,278	15,224	93.5	71	981
器械及備品	8,720	7,824	89.7	0	895
計	24,998	23,048	92.2	71	1,877

(1) 建設改良工事について

建設改良工事は、予算額 162 億余円に対し、執行額 152 億余円であり、執行率は 93.5%となっている。工事の主なものは、精神医療センター(仮称)の整備(82 億余円)、がん・感染症医療センター(仮称)の整備(44 億余円)である。

(2) 器械及備品の整備について

器械及備品の整備は、予算額 87 億余円に対し、執行額 78 億余円であり、執行率は 89.8%となっている。整備購入した医療器械の主なものは、駒込病院の放射線治療装置外 139 件(30 億余円)、松沢病院の電動式ベッド外 277 件(24 億余円)などである。

(別表1) 比較損益計算書

(単位：円、%)

科 目	平成23年度 金 額 (A)	平成22年度 金 額 (B)	増 () 減	
			金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B)×100
医業収益	120,860,847,317	111,664,583,106	9,196,264,211	8.2
入院収益	73,963,438,271	66,164,373,679	7,799,064,592	11.8
外来収益	25,353,134,912	24,005,191,837	1,347,943,075	5.6
一般会計負担金	19,805,761,000	19,994,603,000	188,842,000	0.9
その他医業収益	1,738,513,134	1,500,414,590	238,098,544	15.9
医業費用	140,711,550,660	134,501,737,710	6,209,812,950	4.6
給与費	70,883,846,415	69,076,844,633	1,807,001,782	2.6
材料費	12,911,686,422	12,405,766,367	505,920,055	4.1
経費	42,648,084,063	39,157,306,912	3,490,777,151	8.9
減価償却費	13,211,086,076	12,728,529,505	482,556,571	3.8
資産減耗費	81,126,972	229,284,671	148,157,699	64.6
研究研修費	975,720,712	904,005,622	71,715,090	7.9
医業損失	19,850,703,343	22,837,154,604	2,986,451,261	13.1
医業外収益	27,412,477,981	31,040,241,267	3,627,763,286	11.7
受取利息及配当金	3,005,055,371	3,035,960,761	30,905,390	1.0
一般会計負担金	1,303,627,000	1,293,623,000	10,004,000	0.8
一般会計補助金	20,560,041,000	23,972,774,000	3,412,733,000	14.2
国庫補助金	514,422,780	573,710,287	59,287,507	10.3
その他医業外収益	2,029,331,830	2,164,173,219	134,841,389	6.2
医業外費用	6,067,987,753	6,110,837,094	42,849,341	0.7
支払利息及企業債取扱諸費	2,259,731,780	2,214,461,323	45,270,457	2.0
繰延勘定償却	683,214,597	625,797,093	57,417,504	9.2
雑支出	3,125,041,376	3,270,578,678	145,537,302	4.4
経常利益	1,493,786,885	2,092,249,569	598,462,684	28.6
特別利益	547,303,767	0	547,303,767	—
特別損失	4,354,919,427	1,592,857,165	2,762,062,262	173.4
当年度純損益	2,313,828,775	499,392,404	2,813,221,179	563.3
当年度未処理欠損金	2,313,828,775	0	2,313,828,775	—

(別表2) 比較貸借対照表

(単位: 円、%)

科 目	平成23年度		平成22年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (C)=(A)-(B)	率 (C)/(B) × 100
固定資産	197,914,996,238	69.9	191,827,881,463	69.9	6,087,114,775	3.2
有形固定資産	169,220,954,500	59.8	162,209,001,901	59.1	7,011,952,599	4.3
土地	1,061,284,929	0.4	1,062,342,577	0.4	1,057,648	0.1
立木	53,697,454	0.0	53,839,104	0.0	141,650	0.3
建物	222,312,750,727	78.5	206,379,479,907	75.2	15,933,270,820	7.7
建物減価償却累計額	88,811,238,171	31.4	88,217,770,855	32.1	593,467,316	0.7
構築物	9,023,009,401	3.2	8,840,450,838	3.2	182,558,563	2.1
構築物減価償却累計額	5,571,298,481	2.0	5,521,043,214	2.0	50,255,267	0.9
器械及備品	67,467,260,298	23.8	71,557,023,827	26.1	4,089,763,529	5.7
器械及備品減価償却累計額	38,845,445,672	13.7	44,549,338,086	16.2	5,703,892,414	12.8
車両	89,043,000	0.0	91,197,300	0.0	2,154,300	2.4
車両減価償却累計額	70,274,023	0.0	64,684,239	0.0	5,589,784	8.6
建設仮勘定	2,512,165,038	0.9	12,577,504,742	4.6	10,065,339,704	80.0
無形固定資産	1,028,754,381	0.4	1,179,899,454	0.4	151,145,073	12.8
無形固定資産	951,754,381	0.3	1,148,899,454	0.4	197,145,073	17.2
ソフトウェア仮勘定	77,000,000	0.0	31,000,000	0.0	46,000,000	148.4
投資	27,665,287,357	9.8	28,438,980,108	10.4	773,692,751	2.7
年賦未収金	4,506,673,129	1.6	6,805,400,283	2.5	2,298,727,154	33.8
不動産信託受益権	47,763,772,611	16.9	44,807,928,880	16.3	2,955,843,731	6.6
不動産信託仮勘定	24,681,217,883	8.7	23,252,580,555	8.5	1,428,637,328	6.1
その他投資	76,059,500	0.0	78,231,500	0.0	2,172,000	2.8
流動資産	78,831,825,306	27.8	76,560,195,855	27.9	2,271,629,451	3.0
現金預金	55,474,813,968	19.6	54,206,436,221	19.7	1,268,377,747	2.3
現金	59,647,172	0.0	49,225,719	0.0	10,421,453	21.2
預金	55,415,166,796	19.6	54,157,210,502	19.7	1,257,956,294	2.3
未収金	22,522,089,802	8.0	21,633,349,728	7.9	888,740,074	4.1
医業未収金	19,623,185,810	6.9	18,942,155,434	6.9	681,030,376	3.6
医業外未収金	578,404,780	0.2	284,466,432	0.1	293,938,348	103.3
その他未収金	2,320,499,212	0.8	2,406,727,862	0.9	86,228,650	3.6
貯蔵品	809,634,356	0.3	720,274,834	0.3	89,359,522	12.4
材料	800,515,636	0.3	709,105,965	0.3	91,409,671	12.9
その他貯蔵品	9,118,720	0.0	11,168,869	0.0	2,050,149	18.4
その他流動資産	25,287,180	0.0	135,072	0.0	25,152,108	—
前払金	25,287,180	0.0	135,072	0.0	25,152,108	—
繰延勘定	6,465,143,329	2.3	6,124,294,601	2.2	340,848,728	5.6
控除対象外消費税額	6,465,143,329	2.3	6,124,294,601	2.2	340,848,728	5.6
控除対象外消費税額	6,465,143,329	2.3	6,124,294,601	2.2	340,848,728	5.6
資産合計	283,211,964,873	100	274,512,371,919	100	8,699,592,954	3.2

(単位：円、%)

科 目	平成23年度		平成22年度		増 () 減	
	金 額 (A)	構成比	金 額 (B)	構成比	金 額 (A)	率 (C)/(B) × 100
流動負債	41,548,403,089	14.7	40,564,108,394	14.8	984,294,695	2.4
未払金	41,536,067,221	14.7	40,552,334,644	14.8	983,732,577	2.4
医業未払金	15,004,531,120	5.3	13,302,809,195	4.8	1,701,721,925	12.8
建設改良未払金	21,849,878,085	7.7	24,502,649,972	8.9	2,652,771,887	10.8
貯蔵品購入未払金	890,522,746	0.3	525,358,570	0.2	365,164,176	69.5
未払消費税及地方消費税	34,229,000	0.0	8,636,100	0.0	25,592,900	296.3
過誤納還付金	6,133,638	0.0	5,349,032	0.0	784,606	14.7
その他未払金	3,750,772,632	1.3	2,207,531,775	0.8	1,543,240,857	69.9
その他流動負債	12,335,868	0.0	11,773,750	0.0	562,118	4.8
預り金	4,126,162	0.0	4,086,189	0.0	39,973	1.0
その他流動負債	8,209,706	0.0	7,687,561	0.0	522,145	6.8
負債合計	41,548,403,089	14.7	40,564,108,394	14.8	984,294,695	2.4
資本金	236,121,349,215	83.4	221,392,853,198	80.6	14,728,496,017	6.7
自己資本金	108,258,823,039	38.2	103,550,782,206	37.7	4,708,040,833	4.5
借入資本金	127,862,526,176	45.1	117,842,070,992	42.9	10,020,455,184	8.5
企業債	127,862,526,176	45.1	117,842,070,992	42.9	10,020,455,184	8.5
剰余金	5,542,212,569	2.0	12,555,410,327	4.6	7,013,197,758	55.9
資本剰余金	7,856,041,344	2.8	7,847,369,494	2.9	8,671,850	0.1
受贈財産評価額	3,182,132,457	1.1	3,180,611,027	1.2	1,521,430	0.0
国庫補助金	4,278,454,686	1.5	4,279,423,186	1.6	968,500	0.0
その他資本剰余金	395,454,201	0.1	387,335,281	0.1	8,118,920	2.1
利益剰余金	2,313,828,775	0.8	4,708,040,833	1.7	7,021,869,608	149.1
減債積立金	0	0	4,208,648,429	1.5	4,208,648,429	100
当年度末処分利益剰余金	0	0	499,392,404	0.2	499,392,404	100
当年度末処理欠損金	2,313,828,775	0.8	0	0	2,313,828,775	—
資本合計	241,663,561,784	85.3	233,948,263,525	85.2	7,715,298,259	3.3
負債・資本合計	283,211,964,873	100	274,512,371,919	100	8,699,592,954	3.2